



vol. 23

2011年10月発行

編集・発行

君津中央病院

☎0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



写真提供: 市村 明彦 様(富津市)

理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



認定第JC295-2号
審査体制区分4 (ver. 5.0)
2009. 8. 23~2014. 8. 22

日本医療機能評価機構とは、市民が
適切で質の高い医療を安心して享受
できるよう、医療機関の機能を学術
的観点から評価する第三者機関です

基本方針

- 1 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

目次

表紙 (病院の風景)	1	管理栄養士はこんなことをしています	5
病気のおはなし「動脈硬化症」	2	みなさんのところに伺っています!!	6
病気のおはなし「加齢黄斑変性症」	3	附属看護学校「オープンキャンパス」	7
10階西病棟の紹介	4	大佐和分院より「医局紹介」	8

病気のおはなし 動脈硬化症

動脈硬化というのは、おそらくみなさん普段よく耳にすることがある言葉だと思います。からだのすみずみに酸素や栄養を運んでいるのが血液ですが、動脈硬化はその血液を送っている血管が老化して硬くなってくる変化のことです。つまり血管の老化現象なのです。動脈硬化が進んだ状態を動脈硬化症と呼びますが、そのような場合血液の流れが悪くなったり、さらには血管がつまって血液が流れなくなってしまうこともあります。

動脈硬化症は年をとるとだれにでも多かれ少なかれみられるようになります。高齢の方の血圧を測定すると、緊張したときや運動をした後ではびっくりするほど血圧が高くなってしまっていますが、これは動脈硬化で血管が硬くなっているからです。

ところが、この動脈硬化症が若い年齢のうちからでてきてしまうことがあります。これには原因があるのですが、糖尿病や高血圧症、脂質異常症（悪玉コレステロールや中性脂肪が高い）という病気をもっているとそうなります。これらは生活習慣病とも呼ばれますが、普段の食生活や運動不足が原因となっておきてきます。動脈硬化症が進んでしまった結果おこる代表的な病気が心筋梗塞と脳梗塞です。日本人の3割の方はこのような動脈硬化による病気が原因で亡くなります。これはがんで亡くなるのと同様割合なのです。

動脈硬化症は、このような生活習慣病によって進行してしまうのですが、もう一点とても大きな影響があるものが喫煙です。私が外来

で多くの方々の診療を行って強く感じるのは、喫煙を続けている方の動脈硬化は非常に進行が早いということです。30歳代の若い年齢の方でもすでに血管の若さを失い40歳代で心筋梗塞や脳梗塞を発症してしまう方もみられます。喫煙されている方は、なるべく早く禁煙するべきです。



ところで動脈硬化を直接調べる検査があることをみなさん御存じでしょうか？頸部に超音波をあてて頸動脈を観察する検査や血液の流速や四肢の血圧を測定して血管年齢を算出する CAVI と呼ばれる検査があります。当院でも行っており比較的手軽に行える検査ですので、希望される方はスタッフにお問い合わせください。

人間はだれでもみんな平等に年をとり、からだも老化してきます。これはさけることができないことですが、できることなら最後まで心身ともにしゃっきりと生きていけたらそれにこしたことはありませんよね。動脈硬化を予防する、つまり血管の若さを保つということはそのための土台になるものです。ぜひみなさん、努力と工夫で動脈硬化を予防していきましょう。

（内分泌代謝科 中村 晋）



病気のおはなし

か れ い お う は ん へ ん せ い し ょ う
加齢黄斑変性症

加齢黄斑変性症とは、年齢を重ねることにより、網膜の中心部である黄斑に障害が生じ、見ようとするところが見えにくくなる病気です。欧米では成人の失明原因の第1位です。日本でも近年の高齢化と生活習慣の欧米化に伴い患者数が急速に増加しており、視覚障害者の原因疾患の第4位になっています。

眼球はカメラと同じような形をしています。黄斑とは、カメラのフィルムにあたる網膜の中心部で、網膜の中でも視力や色・奥行きへの識別などをつかさどる重要な細胞が集まっている部分です。黄斑の中心は中心窩(ちゅうしんか)と呼ばれ、見ているところ(固視点)からの光が当たる部位です。

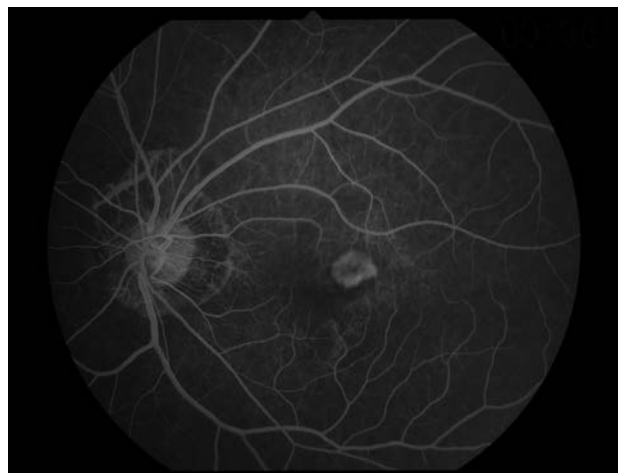


そのため、加齢黄斑変性症では、進行とともに、見たいところがゆがむ(変視症)、真ん中が見えない(中心暗点)、視力低下、色覚異常などの症状が現れます。網膜下に大きな出血が起こると、急激な視力低下が起こることがあります。

加齢黄斑変性症には大きく分けると萎縮型と滲出型(しんしゅつがた)の2種類があります。萎縮型は網膜の細胞が徐々に萎縮し視力が低下していくタイプです。滲出型では網膜の下(脈絡膜：みゃくらくまく)から異常な血管(脈絡膜新生血管)が生えてくることによって、出血や浮腫が起こり、網膜が障害されます。萎縮型と

比較し滲出型の方が病状の進行が早く、急激に視力が低下し、治療をしなければ視力が0.1以下になる場合が多いといわれています。

この病気が疑われた場合、通常の視力検査・眼底検査のほか、網膜断層検査(光干渉断層計：OCTで眼底組織の断面の状態を調べる)、蛍光眼底造影(造影剤を静脈注射して眼底の血管の異常を検査する)などの検査で診断を確定します。



治療は滲出型に対して行われます。VEGF(血管内皮増殖因子)阻害薬(脈絡膜新生血管を退縮させる作用のある薬剤)を眼内に注入する方法、特殊なレーザー治療である光線力学療法(PDT)、通常のレーザー治療など、いくつかの方法があります。どの治療も一度で終了するとは限らず、複数の治療を組み合わせる場合もあります。1～数か月ごとに検査を行い再治療するかどうかを決めます。

この病気は喫煙や紫外線と関連があると考えられており、予防には禁煙、サングラスの着用、サプリメントの摂取、バランスの良い食生活などが勧められています。

進行してからでは視力の維持が難しく、早期発見すればある程度の視力が維持できる可能性があります。片目ずつご自分で見え方をチェックし、上記のような症状があれば早めに近隣の眼科を受診してください。

(眼科 浅海 紀子)

看護局 10階西病棟の紹介

10階西病棟は、主に小児の病棟です。当院は小児に関しても、南房総地域の中核病院として大きな役割を担っています。10階西病棟の対象患児は、小児(15歳以下)の内科・外科・整形外科・耳鼻咽喉科・眼科・脳神経外科ほか全ての科の患児であり、重症患児や手術患児などあらゆる患児が入院しています。

治療においては、小児科・小児外科の医師や看護師のみならずチーム医療を実践しており、カンファレンスにおいて、医師や看護師の他に、医事課・臨床栄養科・ソーシャルワーカー・リハビリテーション科などが参加し、多職種が連携を持ちながら多方面から患児の治療を行っています。



カンファレンス風景

病棟の職員構成は、医師・看護師・クラーク・助手の他に、2名の保育士と小学・中学校の先生がいます。保育士は、入院中の幼児の保育を行っています。小学・中学校の先生は、院内学級として平日のみ千葉県立君津特別支援学校から来られ、学童の勉強をサポートしています。病気の治療のみならず、入院生活をできるだけ家庭での日常生活に近づけ、入院中の患児や家族のストレス緩和に努めています。



君津特別支援学校の先生

院内学級の授業風景

とくに保育士の存在は大きく、患児の保育と同時に家族の負担の軽減などサポートをしています。保育士の活動内容としては、年間行事として七夕会・クリスマス会・お節句などを行っています。

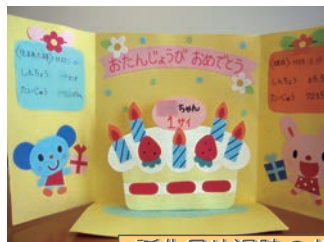


保育士



七夕の短冊の飾り付け

また、プレイルームで子供たちを遊ばせたり、プレイルームに来られない患児には、ベッドサイドで絵本を読んで聞かせたりと保育活動をしています。そして、お誕生日の患児には「お誕生日カード」を作成してプレゼントしたり、退院時には「退院おめでとうカード」を作成しプレゼントしたりしており、患児や家族に非常に喜ばれています。



誕生日や退院のおめでとうカード

その他にも、新生児センターの患児たちにも本の読み聞かせをしたり、小児外来スペースのレイアウトを手掛けたりしています。小児病棟や新生児センターや小児科外来などにおいて、とても活躍しており大切な存在です。

10階西病棟の職員は、地域における小児医療に対する期待に応えるべく、日夜懸命に業務に励んでいます。特に重症患者の受け入れ先が少ない現状のなか、可能な限り受入れたいと考えており、地域の皆様のご理解を頂きながら、今後も頑張っていきたいと思ひます。

(10階西病棟 森田 陽子)



10階西病棟スタッフ

医療技術局 臨床栄養科 ～管理栄養士はこんなことをしています～

臨床栄養科では、今年度の基本方針に《総合的な栄養サポートの充実》を掲げ、業務に励んでおります。

☆栄養管理計画書



医師、看護師、薬剤師等と連携して患者様の栄養評価を行い、栄養管理計画書を作成しています。これをもとに栄養食事指導を行い、また、NST(栄養サポートチーム)や褥瘡対策委員会との連携による低栄養の改善につなげています。

ナースステーションにて情報収集



☆栄養食事相談



医師の指示のもと、入院及び外来において栄養食事相談を行っています。
栄養状態の向上と食生活の変容を促し、病気の予防と治療の一翼を担っています。



外来栄養食事相談室



☆回診の同行、カンファレンスの参加

回診の同行、カンファレンスの参加により、医師の治療方針を知り、病態を把握することで、患者様の適切な栄養管理、食事の提供につなげています。

◆回診の同行

血液浄化療法センター、褥瘡、NST、緩和ケア病棟

◆カンファレンスの参加

褥瘡、糖尿病、NST、小児病棟、緩和ケア病棟

血液浄化療法センター回診



褥瘡回診



糖尿病カンファレンス



NSTカンファレンス



☆集団栄養指導

	対象者	期 日	内 容
糖尿病教室	糖尿病患者及び家族	木曜日	食事療法について
母親学級	妊婦	第2月曜日	妊娠中の栄養について
調乳指導	NICU乳児の家族	水曜日	退院後の乳児の栄養について
母子健康講和	産褥婦	月・木曜日	退院後の母子の栄養について
栄養食事教室	肝臓病患者及び家族	火曜日	肝臓病の病気と食事について
	心臓病患者及び家族	水曜日	心臓病の病気と食事について



母子健康講和



糖尿病教室



☆出前講座

地域住民のご要望に応じて医師、看護師、検査技師等が市民の皆さんのもとに出かけ講演をする当院主催の「出前講座」も、管理栄養士は参加しています。

毎日、業務ミーティングを行っています。病態調理師たちの協力があってこそ、私たちは安心して、活動ができます。

地域医療センター地域連携室 みなさまのところに伺っています!!

出前講座の紹介

君津中央病院では、平成20年11月に地域のみなさまの健康づくり支援と君津中央病院を理解してもらう機会として出前講座をはじめました。その後、平成21年4月より地域連携室が窓口となって、上記の目的に加え、地域医療連携に関する理解促進と啓発を目的として出前講座(公開講座)を実施しております。

この出前講座は地域の方々が希望される会場に病院職員が伺って、あらかじめ決めた29講座のテーマに沿って講演を無償で実施しています。29講座以外のテーマでの講座を希望されることもあります。調整してなるべく要望に添ったテーマで実施できるように努力しております。

出前講座は開始以来今年の7月末で39回実施しており、2,309名の方々に、受講していただきました。ご利用、ありがとうございました。出前講座の開催は、平日の午後1時間程度を基本としますが、午前中、夜間、休日等を希望される場合は、調整可能な限り開催致します。費用は特に必要ありませんが、会場などは講座開催を希望される団体でご準備をお願いします。

まずは、地域連携室までお問い合わせ下さい。29講座名は病院ホームページに掲載しております。ご不明な点や申込用紙が必要な方は地域連携室までご連絡ください。お待ちしております。
【お問い合わせ】君津中央病院 地域連携室

TEL 0438-36-1071 (代表)

FAX 0438-36-0399

〈出前講座の対象〉

木更津市・君津市・富津市・袖ケ浦市に住所を有する市民、民間団体、事務所、公共機関等の開催する会合・研修会・授業などに概ね10名以上の参加者がいる場合とします。

なお、政治・宗教・営利活動に関連する場合、公序良俗に反する恐れがある場合等は、当方で判断させて頂きお断りする場合があります。

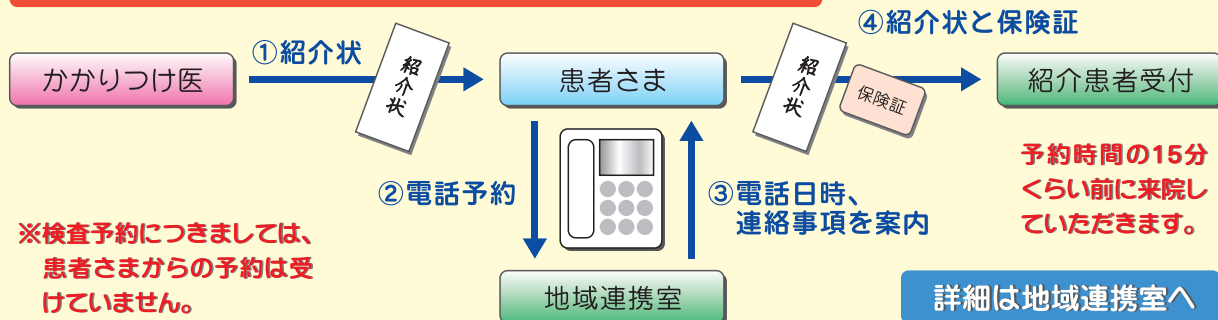


「高校生の食と健康」



「福祉体験」車椅子に乗っての体験

紹介状をお持ちの患者さまは、外来診察の電話予約ができます



君津中央病院附属看護学校

7月と8月に開催したオープンキャンパスは、2日間で約140名以上の参加があり、盛況のうちに終了いたしました。



学校紹介



模擬授業



進路相談



実習体験(血圧測定)



実習体験(バイタルサイン測定)



進路相談



実習体験(沐浴)



実習体験(救急蘇生法)

学校の様子はいかがだったでしょうか？

看護師を目指している方は、ぜひ当校の入試に応募ください。お待ちしております。



【平成24年度入試予定】

平成24年度の入学試験は次のとおりです。

1次募集 平成24年1月12日、13日

2次募集 平成24年2月 9日、10日

- 「入学試験」に関する詳しい内容は、看護学校ホームページ、または入試係（0438-36-1071 内線4850）までお問い合わせください。
- 「君津中央病院看護師等養成奨学金制度」も利用できます。詳しくは 君津中央病院 事務局 総務課 人事給与室（0438-36-1071 内線2950）までお問い合わせください。

君津中央病院広報誌「クローバー」の表紙写真を募集します Clover

詳細は、[君津中央病院ウェブサイト](#)より、[ホーム](#) > [広報誌「クローバー」](#)をご覧ください。



大佐和分院よりお知らせ

人間ドック受付中
TEL 0439-65-1251

大佐和分院 医局紹介

大佐和分院は富津市の大貫駅近くにある病床数36の小さな病院です。潮干狩りやジャンボプールで知られる富津地区と、南房総に向かう幹線国道の狭間に位置するという事もあって、君津木更津地域の方でも意外と近くに来る機会の少ない場所かも知れません。

分院長の田中を初め内科3名、眼科1名の常勤医と各科非常勤の医師にて診療を行っております。

木更津の本院と比べると小規模なので、どうしても可能な検査などは限られてしましますが、内科では腹部・頸動脈・甲状腺・乳腺のエコーや胃・大腸の内視鏡検査、放射線部門ではマンモグラフィや全身のCT検査等が実施可能です。また眼科では白内障を中心とした手術も行っております。

小さな病院という事もあって来院する患者さんの多くは比較的症状の軽い方ですが、時には非常に重い病気の方が自分で歩いて

受診されたりする事もあります。そういう時にも見落とし無く、的確な処置が行えるよう日々心がけております。

また当富津市は君津医療圏の中でも最も高齢化率が高く、寝たきりその他加齢に伴う身体的な問題を抱えた方も多い地域です。そういった方の在宅療養支援も当院訪問看護部門と共に行っております。希望の方は当院または担当のケアマネージャーにご相談ください。

(副院長 北湯口 広)



外来診療担当医表

(平成23年10月1日～)

	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		備 考
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科・小児科	田中		田中		北湯口		田中		田中		桐谷医師 毎月最終の 木曜日のみ
	庄司(涼)		北湯口		庄司(涼)		交替制		北湯口		
					三浦						
循環器科		山本・松戸・関根 (交替)									
神経内科	藤沼										
外 科							朱				
整形外科			保住								
皮 膚 科				稲福・秋田 (交替)							
泌尿器科					稲原						
眼 科	佐々木	佐々木	佐々木		佐々木	佐々木	佐々木		佐々木		
人間ドック					田中				山倉		

受付時間
午前 8:00～11:30
午後 12:00～15:00

診療開始時間
午前 9:00～
午後 13:30～

国保直営君津中央病院大佐和分院
富津市千種新田710番地
TEL 0439-65-1251



編集後記

次第に日差しも和らぎ、過ごしやすい季節となりました。秋といえば……
たくさんの楽しみ方がありますね。私はもっぱら食欲の秋です。おいしいものを食べ、
興味あるものに触れ、活力のある生活へつなげたいですね。(C.K.)

Clover 